

2022 年度事業報告

【事業に関する報告】

I 子ども専用電話の開設運営事業

1 電話受信状況（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

専用電話の開設日は、平日の毎週月曜と水曜に加え、第2日曜の午後4時から9時までの時間帯で実施しましたが、今年度は、新型コロナウイルスによる休止等はなかったものの、密対策として電話回線を原則1回線として対応してきました。また、今年度は、ネット電話の試行にも参加しましたが、受信電話は多くはありませんでした。

2022年度の開設日数は、延べ104日（前年度84日）で、総着信数3,433件（同3,504件）、会話成立は828件（同744件）です。1開設日当たりでは、着信数が33.0件（同41.7件）で、会話成立数は8.0件（同8.9件）です。

専用電話の各月受信状況、年齢層、主訴、関係性、かけ手の動機、気持ち、かけ手の端末、電話開設従事者のシフト配置状況の各表は別紙「資料集」に記載しています。

II オンラインチャットの開設運営事業

昨年同様、月3回（7月は2回）開設してきました。開設日数は延べ35日（前年度30日）総割当件数1,284件（同1,326件）、対応件数701件（同602件）、会話成立件数508件（同400件）。一日当たりの対応数は、20.0件（同20.0件）、会話成立件数14.5件（同13.3件）です。

チャットの受け手養成を2023年3月に開催するとともに、全国オンラインチャット意見交換会（ZOOM）にも参加しました。

オンラインチャットの各月受信状況、年齢層、主訴、関係性、かけ手の動機、気持ち、かけ手の端末、電話開設従事者のシフト配置状況の各表は別紙「資料集」に記載しています。

III 研修事業

1 受け手18期インターン研修

受け手第18期インターン研修は、4月5日（火）～6月21日（火）の期間で計6回開催。研修生12名がオンライン Zoom にて子どもの現状についての講義の受講や電話ロールプレイ等を行いました。

受け手第18期インターン研修開催日時と内容は別紙「資料集」に記載しています。

2 受け手第19期養成研修

第19期受け手養成研修は、4月1日（金）～7月15日（金）の期間で受講生の募集を行い、3名の方から応募がありました。研修は7月19日（火）に開講式を行い、12月6日（火）までの期間で計11回実施しました。

基本的にはオンライン Zoom を利用しましたが、対面での研修を11月19日（火）に事務局にて1回行いました。なお、研修生募集に当たっては、北海道新聞をはじめ地元の団体の協力をいただきました。

受け手第19期養成研修の開催日時、内容は別紙「資料集」に記載しています。

3 受け手19期インターン研修

受け手19期インターン研修は、2023年1月24日（火）より第19期受け手養成研修を修了した研修生2名を対象に、オンライン Zoom にて子どもの現状についての講義や電話ロ

ールプレイ等を行いました。

受け手第 19 期インターン研修開催日時、内容は別紙「資料集」に記載しています。

4 受け手継続研修

2022 年度受け手継続研修は、5 月 13 日（金）～2023 年 4 月 14 日（金）の期間でオンライン Zoom や対面研修にて全 11 回開催しました。受け手・支え手同士の意思疎通を強化し、受け手・支え手全体の資質向上を図るため、全員参加の全体研修としました。

受講者については年度当初 28 人で開始しましたが、8 月以降に受け手として認定された 18 期生 計 10 人が合流しました。

受け手継続研修の開催日時、内容は別紙「資料集」に記載しています。

5 全体交流会の開催

11 月 19 日（土）札幌市社会福祉総合センターにて受け手・支え手、運営関係者等計 25 名が参加し、チャイルドラインほっかいどう全体の意思疎通や情報共有を図ることを目的に開催しました。コロナ禍での対面での交流会でしたが、感染防止対策をしっかりと行い無事に開催することが出来、大変有意義な交流会となりました。

IV 広報啓発事業

1 「2022 年度カード等全道配布事業」実施報告

チャイルドラインの電話番号（フリーダイヤル）や開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、高校、特別支援学校に通う子どもたちを対象に、約 54 万枚配布しました。

カードの作成に当たっては、(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金から小学生用カード 27.4 万枚と中学生用カード 13.8 万枚の贈呈と、北海道新聞社からは高校生用カードの印刷費と各高校への送付料として 20 万円の支援を受けました。また、大和証券福祉財団からは特別支援学校用のカード印刷費と発送費及び札幌市児童会館へのカード発送費として 11 万円の助成をいただいたほか、コープさっぽろ社会福祉基金から 10 万円、北海道 NPO ファンド「越智基金」・「市民活動支援基金」からは受け手養成研修事業助成と併せて 7 万円、北海道地域活動振興協会からは 2022 年版広報誌の発行・配布事業として 3 万円の助成をいただきました。

配布に当たっては、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、市町村立校については道内 179 市町村教育委員会に送付し、道立、国立、私立校には直接送付しました。また、札幌市の児童会館（ミニ児童会館を除く）にも配布しました。

2022 年版広報誌も、教育委員会や各学校に配布しました。

また、札幌市を除く道内 178 市町村教育委員会への発送作業を、社会福祉法人 HOP・障がい者支援施設ホップに委託しました。

カードの配布枚数と経費の内訳等は別紙「資料集」に記載しています。

【運営に関する報告】

I 会議の開催状況

1 総会の開催

2022 年度（第 21 回）通常総会

（2022 年 5 月 27 日 札幌市ボランティア活動センター 研修室 A）

正会員数 119 人のうち本人出席 10 人、委任 24 人、書面議決 39 人により 2021 年度

事業報告、同活動決算報告、同会計監査報告、2022年度事業計画、同予算、役員選出のすべての議案を可決しました。

2 理事会

開催状況は、以下のとおりです。

- 第1回 2022年4月26日 オンライン会議 Zoom で開催
- ・2022年度（第21回）通常総会の開催について
 - ・総会提出議案について
- 第2回 2022年6月24日 札幌市ボランティア活動センター 研修室A
- ・代表理事等の選出について
 - ・2022年度総会の報告について上半期の事業報告と会計収支状況について
 - ・今後の活動課題について
 - ・運営委員の選出について
- 第3回 2022年12月9日 札幌市ボランティア活動センター 研修室A
- ・2022年度上半期（4～9月）の活動報告
 - ・2022年度中間会計報告（4～9月）
 - ・20周年記念事業について

3 運営委員会

開催日と主な協議事項は以下の通り。開催はすべてオンライン会議 ZOOM で行いました

- 第1回 2022年7月17日 ・第19期受け手養成研修の開講について等
- 第2回 2022年8月12日 ・各部からの活動報告について等
- 第3回 2022年9月15日 ・第18期生の受け手認定について等
- 第4回 2022年10月25日 ・ネットでんわの試行実施に向けた対応について等
- 第5回 2022年11月22日 ・20周年記念事業と理事会の開催について等
- 第6回 2022年12月20日 ・支援センター「オンラインチャット意見交換会」の報告等
- 第7回 2023年1月31日 ・20周年記念事業について等
- 第8回 2023年2月28日 ・第19期インターン研修について
- 第9回 2023年3月28日 ・第20期受け手養成研修受講生の募集について等

4 20周年記念事業実行委員会

2022年12月9日 第2回理事会で、「記念式典と講演会の開催」、「記念誌の発行」に向け、実行委員会の設置を確認

2023年2月18日 第1回実行委員会（講演会等を2023年10月29日、かでの2.7で開催を確認）

3月11日 第2回実行委員会

4月1日 第3回実行委員会

5月11日 第4回実行委員会

5 チャイルドライン支援センター・エリア関係

●支援センター

- ・2022年6月11日 2022年度通常総会（田辺代表理事が ZOOM 参加）
- ・2022年12月12日 オンラインチャット意見交換会（渋谷）
- ・2023年3月4日 情報セキュリティ研修会（水口）

〈支援センター助成金事業〉

- ・支え手研修 9月10日（金）18：30～20：30 新支え手4名 他3名
講師：田辺等先生 支え手事例検討
- ・コロナ対策助成金（2万円）

アルコール消毒薬、除菌クリーナー、ペーパータオル、マスク等購入

●エリア会議

- ・2022年10月24日 「つぶやく」のデータ化、内閣府「孤立相談ダイヤル」への参加、無言と頻回電話等への対応で意見交換（田辺代表理事と渋谷運営委員が ZOOM 参加）
- ・2023年3月22日 内閣府の孤立・孤独相談事業、無言・迷惑電話の扱い、エリア理事の役割等で意見交換（田辺代表理事と渋谷運営委員が ZOOM 参加）

II 会員等の状況

2022年度中の正会員は、第18期受け手などのほか、チャイルドライン活動を紹介する場を提供していただいた北海道中小企業同友会や国際ソロプチミストの集まりに参加し、支援を呼びかけたところ新たに15人が加入しました。各会員の増減状況は下記のとおりです。退会者の主な理由は、会費未納（2年間）です。

【2021年度各会員数の状況】

| | 2022年4月初 | 2023年3月末 | 加入・退会者 | 増減 |
|---------|----------|----------|----------------------|------|
| 正会員 | 120人 | 122人 | (加入) 15人 (退会) 13人 | 2人増 |
| 一般会員・個人 | 13人 | 16人 | (加入) 6人 (退会) 3人 | 3人増 |
| 一般会員・団体 | 15団体 | 16団体 | (加入) 4団体 (退会) 3団体 | 1団体増 |
| サポート会員 | 49人 | 49人 | (加入) 12人 (退会) 12人 | 増減0 |

III その他

1 札幌トラストライオンズクラブから、チャイルドラインほっかいどうの活動を紹介しますDVDの贈呈

「チャイルドラインほっかいどうの活動を紹介します」と、札幌トラストライオンズクラブが制作したDVDが完成し、6月15日の同会例会の場で贈呈を受けました。

DVDには、子どもたちが置かれている環境や、電話やチャットを通じた子どもたちの「心の居場所」として活動している内容などが、5分40秒の映像にまとめられています。また、野瀬栄進さん作詞作曲の「チャイルドラインの歌」も収録されています。

チャイルドラインほっかいどうでは、DVDを今後の活動や支援の拡大に活用していく取り組みを進めます。

なお、DVDの制作に協力して下さった札幌光星高校のホームページにも掲載されています。

2 支援団体関係

(2022年)

- ・5月25日 北海道労働金庫本店長・副本店長「つなぐプロジェクト」の件で来局（児玉、川下）
- ・5月30日 札幌南ロータリークラブの例会 10万円の寄付金（水口）
- ・8月6日 電話室設置用として京信興業㈱の京野社長からエアコンの寄付

- ・ 8月26日 北海道日本ハムファイターズにカード配布の協力依頼（水口、早崎、川下）
 - ・ 8月29日 コープさっぽろ社会福祉基金 活動助成贈呈式参加（早崎、古郡）
 - ・ 8月31日 北海道新聞社に代表理事の交代あいさつ及びカード配布の協力依頼（児玉、川口谷、水口）
 - ・ 11月2日 道教委、札幌市教委への依頼文の作成と配布に関する協力依頼（水口、川下）
 - ・ 11月23日 北海道日本ハムファイターズ「カード贈呈式」（川口谷、早崎、川下）
- (2023年)
- ・ 1月27日 大和証券福祉財団「ボランティア助成金」贈呈式（川口谷）
 - ・ 1月30日 カード配布の件でさっぽろ青少年女性活動協会に依頼
 - ・ 2月14日 北海道新聞社への高校生用カード発送に関する報告（水口）

3 助成金・寄付金

2022年度の助成金、寄付金を受領した団体は以下の通りです。

(助成金)

- ・ 北海道新聞社 様 200,000円（カード等配布事業）
- ・ 大和証券福祉財団 様 110,000円（特別支援学校・札幌市児童会館カード作成及び配布事業）
- ・ 公益財産法人コープさっぽろ社会福祉基金 様 100,000円（カード配布事業）
- ・ 越智基金、市民活動支援基金 様 70,000円（養成研修、カード等配布事業）
- ・ 北海道地域活動振興協会 様 30,000円（2022年版広報誌の発行）
- ・ 支援センターコロナ対策助成 様 20,000円
- ・ 支援センター自死予防研修支援 様 20,000円

(寄付金・10万円以上の個人、団体)

- ・ 服部麗子 様 250,000円
- ・ 札幌南ロータリークラブ 様 100,000円
- ・ 榊小林石材 様 100,000円

その他、現物寄付をしていただいた方（団体）については、財務諸表の注記に記載しています。

6 募金箱の設置活動

市民のみなさんにチャイルドラインを支援してもらおうと、お店や事務所にチャイルドライン募金箱を設置しています。企画渉外部が中心になって、2023年3月末現在で13事業所（札幌10、函館2、北広島1）のご協力をいただき、募金合計額は16万円を超える金額になりました。

募金箱設置個所は別紙「資料集」に記載しています。

7 札幌市子どものための相談窓口連絡会議（事務局・札幌市子どもの権利救済事務局）

第27回「子どものための相談窓口連絡会議」

9月13日（火）午後3時30分～午後5時15分

参加機関からの活動報告とヤングケアラーの相談・支援に関する講演
（出席 田辺）

第28回子どものための相談窓口連絡会議

3月14日（火）午後3時30分～午後5時15分

ヤングケアラー問題、子どもの精神疾患支援等について意見交換

(出席 田辺、古川)

8 SNSを活用した相談体制の検討事業連絡会議（事務局・北海道教育委員会）

11月8日 SNSを活用した相談事業協議会（水口）

9 メディア等の取材

- ・5月5日 札幌村ラジオ（早崎、伊藤元直）
- ・6月10日 北海道新聞の取材（養成研修受講生募集 水口、18日に掲載）
- ・6月27日 ラジオ三角山放送局収録（早崎、7月7、14日に番組放送）
- ・7月15日 北海道新聞 札幌10区掲載（早崎、養成研修受講生募集で掲載）
- ・8月12日 北海道新聞社の取材（水口、川下）
- ・9月5日 北海道文化放送（UHB）の取材と放映（田辺）

IV 各部の活動報告

研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日の運営等
- ・18期認定式の実施
- ・企画渉外部と合同で全体交流会の実施
- ・Zoomにて研修部会の実施（計8回）5月17日（火）、6月16日（木）、7月8日（金）、8月5日（金）、8月24日（水）、10月14日（金）、12月2日（金）、2023年2月3日（金）

受け手電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・受け手誓約書の取り扱い
- ・受け手担当状況の把握
- ・全体会に関すること
- ・電話部会議開催
4月5日（火）・7月20日（水）・9月21日（水）・10月24日（月）11月28日（月）
12月9日（月）・1月11日（水）・3月8日（水）

支え手電話部

- ・会議開催 5月3日（火）、6月30日（木）、10月23日（日）、1月29日（日）
- ・1月29日の支え手会議で2023年4月から支え手電話部長の交代が決まり、運営委員会に報告、了承された。

オンラインチャットチーム

- ・月3回実施（7月は2回）実施日：第1、第3金曜日、第4土曜日
- ・チャット受信状況報告 月1回 計12回
- ・チャット担当入れ 調整さん使用で対応
- ・チャット受け手養成研修実施 2023年3月 4名受講
2022年3月末 受け手 11名 支え手 5名（支え手兼務3名）
- ・データベース入力
- ・2022年12月12日 全国 オンラインチャット意見交換会（渋谷）

広報部

- ・一般広報紙の作成・発行（2022年度版）
- ・ホームページの更新（更新等は社福法人HOPに委託）
- ・カード、ポスター作成及び学校等への発送配布

企画渉外部

- ・8月29日 コープさっぽろ社会福祉基金 活動助成贈呈式参加（早崎、古郡）
- ・9月7日 会員拡大のため教育系大学・短大教員へのパンフレット送付
- ・9月20日 北海道中小企業同友会札幌支部豊平・清田区例会（児玉、早崎）
※DVDの上映と児玉顧問によるスピーチにより、一般会員・正会員入会あり
- ・10月26日 ソロプチミスト例会（児玉）
※児玉顧問によるスピーチにより、新会員入会あり
- ・11月19日 研修部との全体研修（交流会）開催
- ・12月 募金箱設置場所ホームページに掲載
- ・企画渉外部部会 11回開催（ズーム会議）